学校番号	４１５

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　新編　言語文化」　（数研出版）						
副教材等	・書き込みながら覚える　古典文法ワークノート（第一学習社） ・大学入学共通テスト対応版　ＬＴ現代文１（浜島書店） ・新訂版　最新国語便覧（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高校全教科及びこれからの生活の基礎になる、読むこと・書くことを習得します。さらに進学後や社会に出てから必要な言語や習俗に関する教養を養います。
・古典については初歩的な古文・漢文を学びます。基礎的な文法を学び、各自で古典の内容を理解することをめざします。また、現代語に繋がる古語の理解を深め、言葉の歴史（変遷）について考えましょう。
・古典、小説ともに描かれている登場人物の心情を適切に読み取ることを心がけましょう。
・授業内の課題はもちろんのこと、提出物、小テストなどにも目的を理解して取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙についてよく理解し、活用できる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを言葉で表現することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・歴史的・文化的背景を踏まえて国語を捉え、その伝統の担い手であることを自覚できる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	読み取った考えを考察し表現することを通して、共感し、想像する力を伸ばそうとしている。文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を論理的に読み取り表現することができている。自分の考えをまとめ、深めている。	言葉を通して他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。文章を読む楽しさを覚え、言語文化に対する関心を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の世界を楽しむ ［教材］ 児のそら寝（宇治拾遺物語）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査	行動の確認
	現代にも生きる教え ［教材］ ある人、弓射ることを習ふに （徒然草）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査	行動の確認
	「ことば」を吟味する ［教材］言語活動の実践 辞書の語釈を書いてみよう	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができている。 c：日常的に使われる言葉を取り上げ、それらの語釈を粘り強く作成しようとしている。	記述の確認	記述の確認	行動の確認
2学期	受け継がれる古文 ［教材］ 羅生門	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	定期考査	行動の確認
	昔と変わらない人の心 ［教材］ 芥川（伊勢物語）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。	定期考査	定期考査	行動の確認
	日本語の中に生きる漢文 ［教材］ 訓読のきまり・格言	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感	定期考査	定期考査	行動の確認

		じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:訓読文体がもつ語感について進んで考察し、積極的に話し合いに参加しようとしている。			
	故事と成語 ［教材］ 漁夫の利	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:学習課題に沿って、「蚌」と「鷸」の言い争いの内容について粘り強く考えている。	定期考査	定期考査	行動の確認
3学期	仮名日記文学の原点 ［教材］ 門出(土佐日記)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	行動の確認
	詩歌を味わう ［教材］ 六月	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c:進んで作品構成を評価し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。	記述の確認	記述の確認	行動の確認

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間